学校番号	1006

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育実習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近隣の保育施設での実習を通して、子どもの発達の特性や発達過程を知っていきましょう。保育に関する知識、技能を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身につけましょう。職業人に求められる倫理観をふまえ、子どもとの関りについて学び、考察し、実践していきましょう。

2　学習の到達目標

① 近隣の保育施設での実習を通して、子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する知識技術を習得する。
② 遊びが子どもの発達に強く影響することを知り、自ら工夫して制作・練習・発表を行う。
③ 積極的に実習に取り組み、活動を評価・改善し、考察したことに基づいて課題を解決していく力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達と特性、発達過程を知ることができる。 遊びが子どもの発達を促進することを知る。さまざまな遊びの実践の方法を知ることができる。 保育の現状や、保育に関する社会制度の知識を身に付けている。	子どもとの関り方を知り、工夫し、課題を設定し、解決策を想定し、改善方法を考えることができる。 遊びの実践の方法を思考できる。 子育ての現状と支援の実際を知り、利用方法を考えることができる。 職業人としての保育実践方法を思考できる。	子どもと積極的に関り、子どもの発達に関心を持ち実践的な態度を身に付けようとしている。 さまざまな遊びを知り、子どもの年齢に合わせて遊びを変化させようとしている。季節感、友達作り、生活習慣作りを意識して製作活動を行おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	施設実習事前指導	○保育とは生命を扱うことであることの意識付け ○職業としての保育の倫理 ○子どもの発達 ○基本的生活習慣と社会的生活習慣 ○子どもの発達と遊び	a:保育者としてのマナー、言葉遣いを知る。子どもの発達と遊びを知る。 b: 保育者としての適切な関りを考える。子どもの発達に合わせた遊びを考える。 c:保育者として子どもに積極的に関わる。子どもの性格や発達に合わせた関わり方をする。	学習プリント レポート	授業観察 学習プリント レポート	授業観察 グループワーク レポート
	施設実習	○実習準備 ○施設実習 ・子どもとかかわる ・遊びの実践 ・保育者の子どもへの関り観察 ・振り返り	a:施設の役割、保育の流れ、自分が行うことを知る。準備物を確認する。 b:実習の目的を考え、自分が実践することを想定しておく。 c:保育者として子どもに積極的に関わる。保育者の子どもへの関り方を学ぶ。	レポート	授業観察 レポート	授業観察 レポート
2学期	遊びの実践	○手遊び ○絵本の読み聞かせ ○壁面製作 等	a:遊びと子どもの発達の関りを知る b:場面や子どもの発達に合わせた遊びを考え、表現する。 c:子どもの発達に合わせた手遊びなどの遊びを製作や表現していく。	レポート 発表・実践	授業観察 レポート 実習 自己評価 相互評価	授業観察 レポート 実習 自己評価 相互評価
	施設実習	○施設実習 ・遊びの実践 ・保育者の子どもへの関り観察 ・振り返り	a:施設の役割、保育の流れ、自分が行うことを知る。準備物を確認する。 b:実習の目的を考え、自分が実践することを想定しておく。 c:保育者として子どもに積極的に関わる。保育者の子どもへの関り方を学ぶ。	レポート 発表・実践	授業観察 レポート	授業観察 レポート
	子育て支援	○子育て支援と保育 ・子ども・子育ての現状 ・子育て支援	a:子育ての現状と、保育を取り巻く環境、子育て支援について知る。 b:子育てが困難な理由を知り、その解決方法を思考する。利用できる子育て支援の方法を考える。 c:自分が出来る子育て支援を考え実践する。	学習プリント レポート 小テスト	授業観察 レポート グループワーク	授業観察 レポート グループワーク

3学期	遊びの実践	○製作物の作成 ○年間振り返り	a: 製作物作成や表現方法を知る。 b: 季節感、マナー、健康、食生活等子どもに伝えたい内容を思考する。自分の行った子どもとの関りを振り返る。 c:製作に積極的に取り組む。	レポート 発表・実践	授業観察 レポート 実習	授業観察 レポート 実習 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度